

(資料4) 関係団体からの要望書

別添資料として公益社団法人 北海道看護協会、一般社団法人 日本義肢協会、公益社団法人 北海道臨床工学技士会、一般社団法人 北海道放射線技師会の要望書 4 枚を添付した。

(資料5) 人材需要調査集計表

人材需要調査集計表(保健医療学専攻)

このアンケートは、北海道科学大学のアンケート調査項目のうち採用意向に関連した質問を取り纏め、集計したものである。

問1 貴機関における保健衛生系・リハビリテーション系の研究職・教育職の充足状況について、お尋ねいたします。
 1 充足している 2 若干不足している 3 不足している 4 非常に不足している

専攻名	評価	有効回答数	回答1	回答2	回答3	回答4		無回答	調査数
研究所・事業所等		20	7	8	5	0		1	21
北海道内保健医療学系私立大学		7	3	4				1	8
合計		27	10	12	5	0	—	2	29
割合(%)		100.0	37.0	44.4	18.6	0.0	—	—	—

問2 保健衛生系・リハビリテーション系分野における研究者や大学教員の養成を目的とする大学院博士後期課程の教育について、どのようにお考えになりますか。

1 必要性を感じる 2 必要性を感じない 3 分からない

専攻名	評価	有効回答数	回答1	回答2	回答3	回答4		無回答	調査数
研究所・事業所等		20	20					1	21
北海道内保健医療学系私立大学		7	7					1	8
合計		27	27	0	0	0	—	2	29
割合(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—

問3 北海道科学大学大学院の保健医療学専攻博士後期課程について、どのようにお考えになりますか。

1 必要性を感じる 2 必要性を感じない 3 分からない

専攻名	評価	有効回答数	回答1	回答2	回答3	回答4		無回答	調査数
研究所・事業所等		21	17		4			0	21
北海道内保健医療学系私立大学		6	6					2	8
合計		27	23	0	4	0	—	2	29
割合(%)		100.0	85.2	0.0	14.8	0.0	—	—	—

問4 北科大大学院の保健医療学専攻博士後期課程で学んだ修了生の採用について、どのようにお考えになりますか。

1 採用したい 2 採用しない 3 分からない 4 その他(具体的に)

専攻名	評価	有効回答数	回答1	回答2	回答3	回答4		無回答	調査数
研究所・事業所等		21	9	1	5	6		0	21
北海道内保健医療学系私立大学		7	5		2			1	8
合計		28	14	1	7	6	—	1	29
割合(%)		100.0	50.0	3.6	25.0	21.4	—	—	—

問5 <問5は、問4で「1」と回答された方のみ>

北科大大学院の保健医療学専攻博士後期課程で学んだ修了生を採用する場合の専門領域について、どのようにお考えになりますか。

- 1 看護学領域 2 理学療法学領域 3 義肢装具学領域
4 臨床工学領域 5 診療放射線学領域

専攻名	評価	有効 回答数 <複数回答可>	回答1	回答2	回答3	回答4	回答5	無回答	調査数
研究所・事業所等		11	0	2	2	4	3	0	21
北海道内保健医療学系私立大学		6	5	1				2	8
合計		17	5	3	2	4	3	2	29
割合(%)		100.0	29.4	17.6	11.8	23.5	17.6	—	—

【結果】

- ・保健衛生系・リハビリテーション系の研究職・教育職の充足状況については、有効回答数27件の63.0%にあたる17件が「若干不足している」又は「不足している」と回答している
- ・保健衛生系・リハビリテーション系分野における研究者や大学教員の養成を目的とする大学院博士後期課程の教育については、有効回答数27件の100.0%にあたる27件が「必要性を感じる」と回答している
- ・北海道科学大学大学院の保健医療学専攻博士後期課程については、有効回答数27件の85.2%にあたる23件が「必要性を感じる」と回答している
- ・北科大大学院の保健医療学専攻博士後期課程で学んだ修了生の採用については、有効回答数28件の50.0%にあたる14件が「採用したい」と回答している

※この資料をご覧ください、添付のアンケートにお答えください

**北海道科学大学大学院では、平成32年4月に
保健医療学研究科 保健医療学専攻 博士後期課程
(仮称、設置構想中)の開設を予定しています。**

※この資料に記載されている内容はすべて予定であり、変更になる可能性があります。

北海道科学大学大学院では、保健医療学部及び保健医療学研究科修士課程を基礎とした保健医療学専攻博士後期課程を平成32年4月に開設予定としています。

【養成する人材】

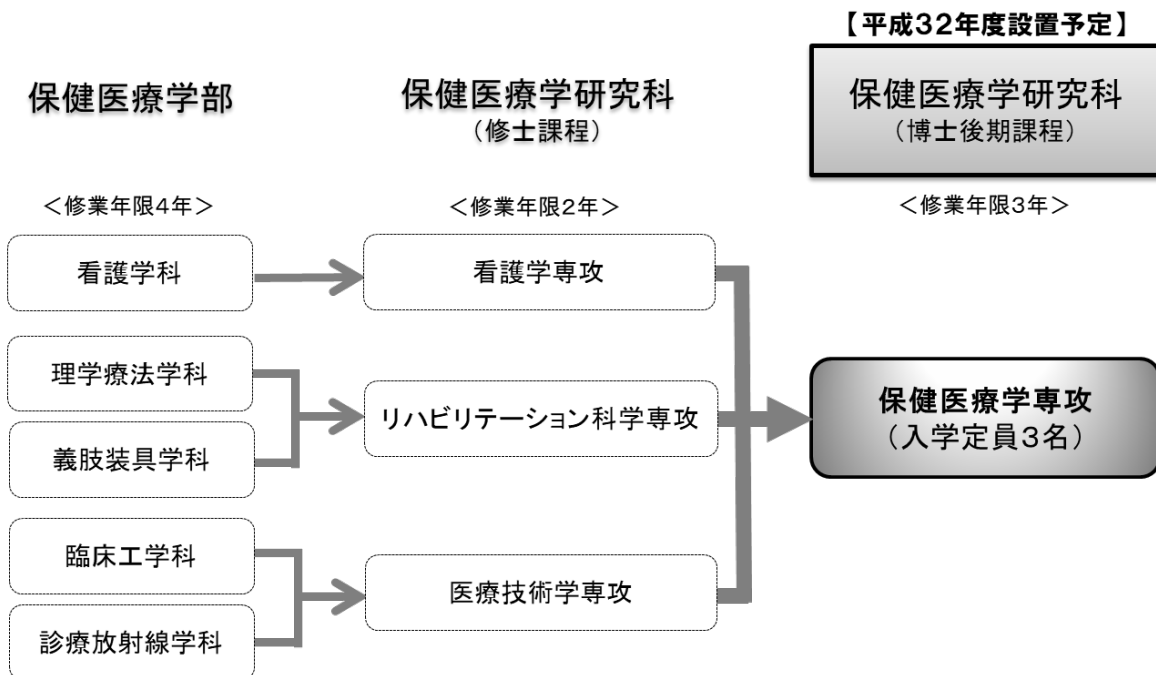
学術研究を担う者としての自覚や意識と自立して研究活動を行うに足る研究能力を有して、現代社会が直面する保健医療分野の諸課題を多角的に分析し、専門分野における問題解決に向けた理論や実践を開発することのできる研究者を養成します。

また、研究者の養成と同様の要素に加えて、大学教育を担う者としての自覚や意識と授業運営や教育方法等の指導力を有して、大学教育の専門分野における基礎教育の充実に向けた授業設計や学生指導を実践することができる教育者を養成します。

■ 研究者養成モデル: 豊かな知的学識と研究倫理や研究手法に関する研究能力を有して、保健医療分野における研究課題の設定や研究活動の実施など高度な研究開発の企画運営を実践することができる人材を養成します

■ 大学教員養成モデル: 研究者の養成と同様の要素に加えて、授業運営や教育方法等の指導力を有して、大学教育の専門分野における基礎教育の充実に向けた授業設計や学生指導を実践することができる人材を養成します

【既設の学部・修士課程との関係図】



※この資料をご覧ください、添付のアンケートにお答えください

【設置の概要】

- 設置専攻:北海道科学大学大学院 保健医療学研究科
保健医療学専攻 博士後期課程
- 学生定員:入学定員3名／収容定員9名
- 開設時期:平成32(2020)年4月
- 設置場所:北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
- アクセス:JR手稲駅北口よりJRバスで約9分。タクシーで約5分。徒歩では約25分

【大学院として担う人材養成機能】

保健医療学研究科保健医療学専攻博士後期課程として担う人材養成機能は、「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」を主としつつ、当該人材養成機能の延長線上として、「確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員の養成」を担うこととしています。

【学位授与の方針】

- 保健医療の最新の動向や諸課題の理解と研究倫理や研究方法を修得します
- 高度な研究活動を実践するための基礎となる豊かな知的学識を修得します
- 研究者や教育者としての自覚や意識と研究や教育の実践方法を修得します
- 自ら研究課題を設定し研究活動が実践できる高度な研究能力を修得します

【教育課程編成方針】

高度な学術研究を基盤とした教育を展開するとともに、狭い範囲の研究領域のみならず、幅広く高度な知識や能力が身に付く体系的な教育課程を編成します。

- 保健医療学分野における共通的な諸課題の理解や最新の研究動向と多様な研究方法等の理解とともに研究者としての規範と責務に基づく適切な判断力を修得するための科目群を配置します
- 専門分野の研究開発における俯瞰的な視点からの考察力や主体的な問題発見や解決に必要な情報の収集・分析から解決方法の検討や選択ができる能力を修得するための科目群を配置します
- 研究者や教育者としての自覚や意識の涵養及び多様な研究活動や教育活動の場を通じて研鑽を積むことにより研究活動や教育活動の在り方や実施方法を修得するための科目群を配置します
- 自己の研究課題の設定にはじまり研究計画の立案・調査・分析から研究の過程で得られた個々の成果の発表や意見交換等を通して高度な研究能力を修得するための科目群を配置します

【開設予定科目】

- 共通科目:保健医療学基盤研究、保健医療学研究方法、保健医療学研究倫理
- 専修科目:保健医療学特殊研究Ⅰ、保健医療学特殊研究Ⅱ、保健医療学特殊研究Ⅲ、保健医療学特殊研究Ⅳ、保健医療学特殊研究Ⅴ
- 展開科目:研究開発基盤研究、研究開発実践研究、大学教育基盤研究、大学教育実践研究
- 研究科目:保健医療学特別研究

【学 費】※予定

初年度納付金:1,000,000円(入学金:200,000円、授業料:800,000円)

※本学の卒業生が入学するときは、入学金が免除されます

北海道科学大学大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 博士後期課程（仮称）の
人材需要に関するアンケート調査

【回答欄】

【貴機関の種別について、お伺いします。】

次の中から、該当する業種を選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|--------|
| 1 研究機関 | 2 教育機関 |
| 3 医療機関 | 4 民間企業 |
| 5 その他（具体的に | ） |

【貴機関の所在地について、お伺いします。】

次の中から、該当する県名を選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|--------|------------|
| 1 北海道 | 2 東北地方 |
| 3 関東地方 | 4 その他（具体的に |

問1 貴機関における保健衛生系・リハビリテーション系の研究職・教育職の充足状況について、お尋ねいたします。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1 充足している | 2 若干不足している |
| 3 不足している | 4 非常に不足している |

問2 保健衛生系・リハビリテーション系分野における研究者や大学教員の養成を目的とする大学院博士後期課程の教育について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 必要性を感じる | 2 必要性を感じない |
|-----------|------------|

問3 北海道科学大学大学院の保健医療学専攻博士後期課程について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 必要性を感じる | 2 必要性を感じない |
| 3 わからない | |

問4 北海道科学大学大学院の保健医療学専攻博士後期課程で学んだ修了生の採用について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|---------|------------|
| 1 採用したい | 2 採用しない |
| 3 わからない | 4 その他（具体的に |

<問5は、問4で「1」と回答された方のみ、お答えください>

問5 北海道科学大学大学院の保健医療学専攻博士後期課程で学んだ修了生を採用する場合の専門領域について、どのようにお考えになりますか。

次の中から、一つ又は二つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 看護学領域 | 2 理学療法学領域 |
| 3 義肢装具学領域 | 4 臨床工学領域 |
| 5 診療放射線学領域 | |

これで、アンケートは終わりです。

ご多忙中、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

(資料6) 保健医療学部人事計画 (平成34年度
～平成38年度)

保健医療学部 人事計画（平成34年度～平成38年度）

学科	教員計画	平成34年度末	平成35年度末	平成36年度末	平成37年度末	平成38年度末
看護学	退職予定	定年規程により専任教員1名が退職予定		定年規程により専任教員3名が退職予定	定年規程により専任教員2名が退職予定	
	新規採用予定	公募等により、博士の学位、看護学分野に関する研究業績を有する助教1名を採用		公募等により、博士の学位、看護学分野に関する研究業績を有する教授1名、講師1名、助教1名を採用	公募等により、博士の学位、看護学分野に関する研究業績を有する助教1名を採用	
	昇格予定	教育研究業績等の評価に基づき、准教授1名を教授に、講師3名を准教授に、助教2名を講師に昇格	教育研究業績等の評価に基づき、講師2名を准教授に、助教1名を講師に昇格	教育研究業績等の評価に基づき、助教1名を講師に昇格	教育研究業績等の評価に基づき、准教授1名を教授に昇格	
理学療法科	退職予定	定年規程により専任教員1名が退職予定 ※内専任教員1名は定年退職者の再任用に関する規程に基づき再任用	定年規程により専任教員1名が退職予定	定年規程により専任教員1名が退職予定		
	新規採用予定	公募等により、博士の学位、理学療法学分野に関する研究実績等を有する助教1名を採用	公募等により、博士の学位、理学療法学分野に関する研究実績等を有する助教1名を採用			
	昇格予定	教育研究業績等の評価に基づき講師1名を准教授に昇格	教育研究業績等の評価に基づき准教授1名を教授に昇格	教育研究業績等の評価に基づき准教授1名を教授に、講師2名を准教授に、助教2名を講師にそれぞれ昇格		
義肢装具学	退職予定		定年規程により専任教員1名が退職予定 ※内専任教員1名は定年退職者の再任用に関する規程に基づき再任用	定年規程により専任教員1名が退職予定		
	新規採用予定			公募等により、博士の学位、義肢装具学分野に関する研究実績等を有する講師1名を採用		
	昇格予定	教育研究業績等の評価に基づき准教授1名を教授に昇格		教育研究業績等の評価に基づき講師1名を准教授に昇格	教育研究業績等の評価に基づき講師1名を准教授に昇格	
臨工学	退職予定	定年規程により専任教員1名が退職予定 ※内専任教員1名は定年退職者の再任用に関する規程に基づき再任用	定年規程により専任教員1名が退職予定 ※内専任教員1名は定年退職者の再任用に関する規程に基づき再任用	定年規程により専任教員1名が退職予定	定年規程により専任教員2名が退職予定 ※内専任教員1名は定年退職者の再任用に関する規程に基づき再任用	
	新規採用予定			公募等により、博士の学位、臨床工学学分野に関する研究実績等を有する講師1名を採用	公募等により、博士の学位、臨床工学学分野に関する研究実績等を有する助教1名を採用	
	昇格予定	教育研究業績等の評価に基づき助教1名を講師に昇格	教育研究業績等の評価に基づき准教授1名を教授に昇格	教育研究業績等の評価に基づき准教授1名を教授に昇格	教育研究業績等の評価に基づき講師2名を准教授に昇格	
診療放射線科	退職予定			定年規程により専任教員1名が退職予定 ※内専任教員1名は定年退職者の再任用に関する規程に基づき再任用		定年規程により専任教員2名が退職予定 ※内専任教員1名は定年退職者の再任用に関する規程に基づき再任用
	新規採用予定					公募等により、博士の学位、診療放射線学分野に関する研究実績等を有する助教1名を採用
	昇格予定	教育研究業績等の評価に基づき准教授1名を教授に、講師2名を准教授にそれぞれ昇格	教育研究業績等の評価に基づき助教2名を講師に昇格	教育研究業績等の評価に基づき准教授1名を教授に昇格		

(資料7) 保健医療学研究科修士課程入試状況

保健医療学研究科 修士課程入試状況

	入学定員	平成30年度					平成31年度(令和元年度)				
		志願者	受験者	合格者	入学者	超過率	志願者	受験者	合格者	入学者	超過率
看護学専攻	5	6	6	6	6	1.20	7	7	7	7	1.40
リハビリテーション科学専攻	4	4	4	4	4	1.00	3	3	3	3	0.75
医療技術学専攻	4	5	5	5	5	1.25	6	6	6	4	1.00
合計	13	15	15	15	15	1.15	16	16	16	14	1.07